

報道関係各位<お知らせ>

阪急阪神ホールディングス株式会社

～「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第8回助成プログラム～
助成対象団体募集 総額960万円・1団体最高80万円



阪急阪神ホールディングスでは、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向け、グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。より良いまちづくりには、さまざまな規模の市民団体の活動が活性化することが重要だと考えており、今年度も阪急阪神沿線で「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む市民団体への助成プログラムを実施し、以下のとおり助成を希望する団体を募集します。

1. 募集内容（抜粋）

- 募集分野** 『地域環境づくり』または『次世代の育成』（※1）
 （※1）『地域環境づくり』：地域の安全・美化活動、里山保全、地産地消、世代間交流など
 『次世代の育成』：子どものための環境教育、文化・スポーツ活動、国際理解、福祉など
- 団体要件** 阪急阪神沿線（※2）を活動フィールドとし、上記募集分野における活動実績が3年以上ある非営利の市民団体
 （※2）阪急阪神沿線：当社グループの主な鉄道の駅または主なバスの営業所がある22市町
- 募集部門** 上記募集分野の活動に取り組む団体を、支出規模や事務局スタッフ数により2部門に分けて審査する。

	助成額（1団体あたり）	対象団体	助成団体数
部門Ⅰ	40万円	募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組むすべての団体。支出規模は問わない。	8団体程度
部門Ⅱ	80万円	募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組む団体で、年間支出額500万円以上、事務局スタッフ1名以上の団体を想定。 ※これまでの活動の先駆性や市民団体ならではの優れた事業モデルを持つかを重視して選考する。	8団体程度

2. プログラムの特徴

- 阪急阪神沿線で活動する市民団体に特化して支援します。
- 既存・新規事業を問わず助成金の使途が自由で、団体にとっての使いやすさに配慮しています。
- 当社グループ66社の従業員の募金から成る「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」と、当社からの同額上乘せにより助成します。

3. スケジュール

2016年 9月26日（月） 応募受付開始
 11月 4日（金） 応募締切（17時事務局必着）
 その後、審査を経て2017年2月下旬に助成対象団体を決定します。また、後日、助成対象団体を当社ホームページや阪急沿線情報紙「TOKK」などで発表します。

4. 主催

阪急阪神ホールディングス株式会社（「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」参加66社）

5. 助成事務局（助成に関するお問合せ・お申込み先）

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 TEL：06-6809-4901

以上

【参照ホームページ】 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html>

【添付資料】「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成プログラム 募集チラシ

【お知らせ配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

報道機関からのお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ経営企画室 広報部 TEL：06-6373-5092



阪急阪神 未来のゆめ・まち基金

第8回

第8回 助成対象団体募集!

2016年 (16団体程度)

応募期間

9月26日月 ~

11月4日金 [17:00助成事務局必着]

助成プログラム

未来のため、まちのため、そのキモチを応援したい。

わたしたちは、『安心・快適』、そして『夢・感動』をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献することをグループ経営理念として事業活動に努めています。この経営理念のもと、社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けたグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。

より良いまちづくりには、当社グループが事業活動および社会貢献活動に真摯に取り組むことに加え、沿線地域の皆様との協働が大切だと考えています。このため、今年度も、従業員の募金を基に、阪急阪神沿線で「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む市民団体の皆様への助成を行います。皆様のご応募を、心よりお待ちしております。

阪急阪神ホールディングス株式会社

プログラムの特徴

1 助成金は使途自由、運営資金にも利用可

助成金の使途は自由で、既存事業・新規事業いずれの運営資金にも利用可能。市民団体の使いやすさに配慮した団体助成です。

2 阪急阪神沿線で活動する市民団体に助成

当社グループ発祥の地「阪急阪神沿線」の市町で活動する団体に助成することで、より地域の発展につながる活動を支援します。

3 助成金の半額は、グループ従業員の募金

従業員有志の募金による「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の積立金に、当社が同額を上乗せして助成します。

4 助成金額が異なる2つの募集部門

様々な規模の市民団体を支援するため、支出規模や事務局スタッフ数に応じ、助成金額が異なる2部門を設定します。

部門Ⅰ: 40万円を助成 部門Ⅱ: 80万円を助成

5 広報PR協力

沿線情報紙「TOKK」や従業員向け広報誌「ゆめ・まち・みらい」等で団体の活動やイベント情報を広報PRします。

募集分野

※写真は第7回助成対象団体です。
※(特非)…特定非営利活動法人

地域環境づくり

地域の安全・美化運動、里山保全、地産地消、地域の文化芸能の保全・活用、地球温暖化防止活動など



NPO法人 芥川倶楽部【高槻市】



大山崎ふるさとガイドの会【大山崎町】



(特非) 花と緑のネットワークよなか【豊中市】



NPO法人 みのお山麓保全委員会【箕面市】



武庫川がっこう【宝塚市】

次世代の育成



子ども達のための自然体験、環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解、福祉、食育、障がい児支援など



(特非) あつとすくー【箕面市】



(特非) NPOクワガタ探検隊【池田市】



こらぼれチップス【吹田市】



(特非) 支援機器普及促進協会【長岡京市】



(特非) 児童虐待防止協会【大阪市】



(特非) 多文化共生センター大阪【大阪市】



(特非) 日本クリニックラウン協会【大阪市】



認定NPO法人 箕面こどもの森学園【箕面市】



ワールドキッズコミュニティ【神戸市】

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第8回助成プログラムについて

1 募集分野 (どちらか1つの分野に当てはまれば結構です)

A. 「地域環境づくり」

地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり

B. 「次世代の育成」

未来の地域社会を担う子ども達が、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり

〈詳しくは募集要項7ページ参照〉



2 募集部門 (いずれかの部門を選択してご応募ください)

様々な規模の市民団体を支援するため、支出規模や事務局スタッフ数に応じ、助成金額が異なる2部門を設定します。

部門Ⅰ(40万円を助成)

対象：募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組むすべての団体。支出規模は問いません。

部門Ⅱ(80万円を助成)

対象：募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組む団体で、年間支出額500万円以上、事務局スタッフ1名以上の団体を想定しています。
(※これまでの活動の先進性や市民団体ならではの優れた事業モデルを持つかを重視して選考します。)

3 助成対象団体の要件 (一部)

(1) 公益的な活動を行う非営利の市民団体(特定非営利活動法人またはボランティアグループなどの任意団体)で、阪急阪神沿線の市町※1を活動フィールドとすること。

(※1) 京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町

(2) 募集分野(「地域環境づくり」または「次世代の育成」)における活動実績があり、2017年4月1日現在で団体設立から3年以上経過していること。

(3) 会員が5人以上いること。

(4) 定款、会則またはこれに相当する規約等を整備し、事業報告書やニュースレターなど、過去の活動実績がわかる書類を発行していること。

*その他、書類の提出や公開などに関して要件があります。詳しくは「募集要項」「助成申請書」を助成事務局ウェブサイトから入手してください。

4 応募書類

【必須提出書類】

- 助成申請書(所定の様式のもの)
- 組織の規約を示すもの(「定款」や「会則」など)
- 事業報告書(過去1年以上の活動履歴がわかる資料)
- 決算書(過去1年以上の収支がわかる資料)
- 貸借対照表(作成している団体のみ)
- 財産目録(作成している団体のみ)
- 団体の概要がわかるパンフレットなど
(ホームページの団体概要掲載ページのコピーでも可)

【任意提出書類】

- 直近の事業計画書
- 直近の予算書
- ニュースレターやチラシなど

5 応募期間

2016年9月26日(月)～11月4日(金) 17時 助成事務局 必着

応募書類一式、正本1部を下記助成事務局にお送りください。

持参される場合は、当日17時まで受け付けます。

*応募書類は返却できませんので、申請者は必ず控えをお取りください。

6 選考方法・選考基準

主催者が行う書類選考と選考委員による本選考(面接含む)により、次の観点から総合的に評価し、決定します。

- ①プロジェクト重点領域との整合性
：プロジェクトの重点領域※に沿った活動である。
- ②活動目的の社会性：公益性や重要性が高く、市民が取り組む意義がある。
- ③活動実績：活動目的や社会的背景を踏まえた活動の実績がある。
- ④企画力：ニーズ等の分析が的確で、目的達成に向けての計画が具体的かつ実現可能である。
- ⑤連携と共感：多様な人々との連携に向けて開かれており、市民や当社従業員から共感・参加を得やすい。
- ⑥組織の継続発展性：組織・事業が継続する仕組みがあり、今後の発展の可能性がある。

※募集要項7ページ参照

7 助成実施までのスケジュール



8 募集説明会 要予約



日時：2016年10月4日(火) 18:30～19:30(開場18:00)

会場：市民活動スクエア「CANVAS谷町」(大阪市中央区谷町2-2-20 2F)

*参加は任意です。選考への影響は一切ありません。

*事前申込制。「未来のゆめ・まち基金 募集説明会申込希望」と明記して、

①団体名、②参加者名、③電話番号を記載の上、下記助成事務局までメール、FAXまたはHPの申込フォーム(http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/)でお申し込みください。

9 助成事務局 (お問合せ・申請書類送付先)

社会福祉法人 大阪ボランティア協会(担当: ^{むくのき} 棕木、永井)
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエア「CANVAS谷町」

TEL 06-6809-4901 FAX 06-6809-4902 ^{メール} office@osakavol.org

「募集要項」「助成申請書」ダウンロードページ(大阪ボランティア協会HP内)

URL http://www.osakavol.org/yumemachi_kikin/

申請についてのお問合せは、「募集要項」「助成申請書」をご覧の上、助成事務局まで電話またはFAXでお願いします。「募集要項」「助成申請書」は、上記ウェブサイトからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、助成事務局に電話またはFAXで請求できます。

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は、
助成金の使途を
限定しない

『団体助成』です!



既存・新規いずれの事業でも利用でき、
事業経費のほか、組織運営を支える
経費、人件費等にも使える助成金です。

※申請団体が行う特定の事業の必要性等を審査し、対象事業に助成金の使途を限定する場合は多い「事業助成」とは異なります。

過去7年間実績

〈助成総数〉

81団体

〈助成総額〉

4,070万円